



フォルトウナ通信

➡ FORTUNA AKTUELL - Japanese Version



チーム一丸となって勝利へ。

➡ GEMEINSAM SIND WIR STARK

選手インタビュー
イラス・ベブー

➡ INTERVIEW MIT IHLAS BEBOU

成長著しいユースアカデミーの選手たち

➡ TOLLE ENTWICKLUNG VON NLZ-SPIELERN

日本人学校ESPRITアリーナ見学会

➡ ARENA-FÜHRUNG FÜR DIE JAPANISCHE SCHULE





横浜ゴム株式会社 月に一度は空気圧の点検を

Winter is close - change your tyres now at our YOKOHAMA tire partner in Düsseldorf

Winkler, Fries GmbH

Contact partner: Dimitri Nachtigall

Flingerbroich 10 • 40235 Düsseldorf

Telephone: 0211-61016458

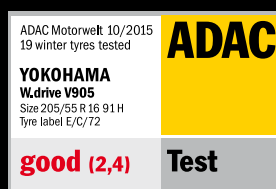
W.drive V905



www.yokohama.de



YOKOHAMA –
Official Football Sponsor



親愛なる日本人社会の皆さまへ

Liebe japanische Fortuna-Freunde,

チームマネージャー ザッシャ・ルスラー

Sascha Rösler, Teammanager

私がまだ現役選手としてプレーしていたころ、多くの日本人選手がドイツサッカー界で活躍するようになりましたが、それは日本サッカーが過去20年で素晴らしい成長を遂げてきたことの証明に他ならないと思います。香川真司選手や清武弘嗣選手、長谷部誠選手らの名前は、今後ブンデスリーガの歴史の中でも、長く語り継がれていくに違いありません。そして彼らだけでなく、それに続く新しいタレントが次々にドイツに渡ってきています。今年FC東京からFSVマインツ05に加入した武藤嘉紀選手などは、すでにチームでも主力としてプレーしています。また私自身の経験として、引退前の最後の所属クラブとなったアレマニア・アーヘン(2012/13シーズン)には、村上範和選手という日本人のチームメートがいましたが、彼は

ドイツに来る前にはシンガポールや南アフリカ、インドやその後ベルギーでもプレーをした、素晴らしいワールドフットボーラーでした。

私はフォルトウナのユニフォームを着てプレーをしていたころから、頻りに日本人社会とはコンタクトを持っていました。当時から、デュッセルドルフで行われる日本デーへ足を運んでおり、そこでフォルトウナテントを見つけ、限定グッズ販売を行っていたことを嬉しく思っていました。我々のクラブがデュッセルドルフの日本社会との間に信頼関係を築いていることは、クラブにとっても素晴らしいことであることは間違いありません。

私は今、チームマネージャーという立場ですが、いつか近い将来日本人選手を迎えることが出来ること



も楽しみにしています。日本人はサッカー能力に優れているだけでなく、規律正しく、非常に友好的です。そして選手だけでなく、我々のホームスタジアムESPRITアリーナで、一人でも多くの日本人ファンの皆様の姿を見ることが出来ることを、毎試合心より楽しみにしています。





Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Flinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Kai Niemann (medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta (japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski
(www.derlewan.de)

Druck 印刷:
Clasen GmbH

毎試合1点が足らず、3連敗。

Bei drei knappen Niederlagen fehlt jeweils ein Tor

ドイツ杯1回戦でPK戦までもつれ込んだRWエッセンとの激闘を制したフォルトウナは、その後、リーグ戦に戻るも3連敗を喫してしまう。毎試合好ファイトを披露するも、運にも見放され、毎回あと1点が届かない試合が続いた。



Heidenheim 1-0 F95

アウェーに乗り込んで迎えた第3節、フォルトウナはハイデンハイムと対戦した。前半から積極的にチャンスを作るも、マティス・ボリーが決定機を活かしきれないなど、前半はスコアレスで折り返す。後半は両チームともに攻勢に出たため激しい戦いとなったが、ハイデンハイムが77分にフリーキックのこぼれ球から鮮やかな決勝ループシュートを決めることに成功する。フランク・クラマー監督はその後、攻撃陣の選手を次々投入するも、同点ゴールは奪うこ

とが出来ず、そのまま敗戦となってしまった。

F95 1-2 SC Freiburg

1部から降格してきた強豪フライブルグを迎え撃ったこの一戦は、33分に失点するも、その4分後にボリーが高速カウンターから独走し、同点ゴールを決めることに成功する。しかしその2分後に再びゴールを許すと、前半を1点ビハインドで折り返す。後半に入り攻勢に出たフォルトウナだったが、まずはセルチャン・サラレアがPKを失敗すると、その後もコーナー

キックからクリスティアン・シュトロディークのヘディングシュートと、ディディエ・ヤ・コナンのシュートがどちらも相手ゴールバーを直撃し、どうしても得点を奪えない。そして猛攻も実らず、この試合も落としてしまうことに。

1.FC Nürnberg 1-0 F95

どちらのチームも開幕スタートに失敗し、負けられない一戦となったこの試合。しかしチーム状況を象徴するように、どちらもフィニッシュの精度を欠く展開となる。そんな中、前半終了間際にユリアン・コッホがミドルシュートで相手ゴールネットを揺らすことに成功。しかしこれは、シュートコース上にいたマイク・ファン・ドイネンがオフサイドの判定となり、得点が認められない。すると後半67分、カウンター攻撃から、一度はミハエル・レンジングがセーブするも、こぼれ球を押し込まれて先制ゴールを決められてしまう。クラマー監督は新加入のケレム・デミルバイを投入し、攻撃を活性化するも、89分のヤ・コナンのシュートは再びゴールバーに嫌われ、そのままタイムアップとなってしまった。





今季初勝利から3戦負けなし！

Nach dem ersten Saisonsieg für zwei weitere Spiele ungeschlagen

F95 3-0 1860 München

フォルトウナから1860ミュンヘンへ移籍したばかりのミハエル・リーネデルも出場したこの一戦は、アクセル・ベリングハウゼンが前半から躍動する。開始9分に左サイドからのセンタリングでイラス・ベブーのヘディングゴールをアシストすると、30分にはサラレアからのパスに抜け出し、再びヤ・コナンのゴールをお膳立てするクロスを上げる。前半を2点リードで折り返したフォルトウナは、勢いそのままに66分には再びヤ・コナンが相手ゴールネットを揺らして3点差とすると、ディフェンス陣もしっかりとした堅守を見せ、嬉しい今季初勝利を、ホームESPRITアリーナで掴むことに成功した。



VfL Bochum 1-1 F95

火曜日の夜に開催された第7節は、今季好調のボーfumとアウエーで激突することに。多くのサポーターが詰めかけたこのダービーは、前半から激しい攻防戦となる。どちらも守りに入ることなく積極的に攻撃を仕掛け、両チームの守護神が好セーブを連発する試合展開となる。ところが26分、ロングボールのこぼれ球を拾われ、一瞬の隙を突かれてボーfumに先制ゴールを決められてしまう。後半に入り、ベブーやサラレアがシュートを放つも、これらも相手GKの好プレーに阻まれる。またボリーのシュートがゴールポストに直撃するなど、運にも見放されてしまう。それでも最後まで諦めな



いフォルトウナはロスタイム、サラレアのセンタリングにファン・ドイネンが頭で劇的な同点弾を決め、貴重な勝ち点1を獲得することに成功した。

Karlsruher SC 1-1 F95

2試合連続でアウエー戦となった今節は、昨季入れ替え戦に挑んだ古豪のカールスルーエ。ここ2試合で良いパフォーマンスを見せていたフォルトウナだったが、この日はカールスルーエが試合を優位に進め、多くの決定機を作られてしまう。フォルトウナも反撃を試みるが、なかなかフィニッシュまでの形が作れない。それでも後半にフリーキックのチャンスを得ると、デミルバイの蹴ったボールは密集する両チームの選手の間をすり抜けて、相手ゴールに吸い込まれ、先制点を挙げることに成功する。ところがその直後、シュートローディークがエルヴィン・ホッフアーにボールを奪われ、同点ゴールを決められてしまう。そしてこの僅かなミスが命取りとなり、この試合も引き分けでタイムアップを迎えた。

チーム一丸となって勝利へ。

Gemeinsam sind wir stark

3試合負けなしと上昇気流に乗り始めたかに思えたチームだったが、ホームでザントハウゼンに敗れると、アウェーでカイザーслаウテンに3失点とディフェンスが崩壊してしまう。それでも立て直しを図り、チーム一丸となって挑んだビーレフェルト戦で貴重な勝ち点3を獲得。しかし、その後ライプツィヒに敗れると、グロイター・フュルトには再び1-0で勝利も、再びアウェーでザンクト・パウリに0-4の敗北となってしまった。



F95 0-1 SV Sandhausen

前節のカールスルーエ戦ではリードを守れなかったフォルトウナ。そこでしっかりと守備の確認をして挑んだこの一戦は、前半は安定したディフェンスを見せる。しかし今季を通じて決定力を欠く前線の攻撃陣がなかなか先制点を奪えない。すると後半の立ち上がり、シュートのこぼれ球を元フォルトウナのラニサフ・ヨヴァノビッチに押し込まれ、これが決勝点となって黒星を重ねる結果となった。



1.FC Kaiserslautern 3-0 F95

今節は左サイドを担ってきたベリングハウゼンとサラレアが負傷離脱することに。結果が欲しいクラーマー監督にとって痛手となったが、ポジション変更を行ってキックオフを迎える。しかし試合は開始11分、相手のカウンター攻撃から失点を許してしまう。その後激しい攻防戦となるも、フォルトウナにはなかなか得点が生み出されない。すると後半にはコーナーキックから追加点を奪われると、反撃も実らずロスタイムには3失点目を喫し、2連敗となってしまった。

F95 1-0 DSC Arminia Bielefeld

3年前にフォルトウナを1部昇格に導いたノーベルト・マイヤー監督が率いるビーレフェルトを迎えてのホーム試合は、お互い慎重な立ち上がり。それでも20分を過ぎたところで両チームがファーストシュートを放つと、24分に左サイドを突破したサラレアが相手GKのオウンゴールを誘発させ、リードを奪うことに成功する。その後は守護神レンジングがファインセ

ーブを連発するなど、ディフェンス陣も含めて安定した守備を見せたフォルトウナは、度々カウンター攻撃で応酬しながら90分間を戦い抜き、タイムアップとともに今季2勝目を挙げることに成功した。

Rasenballsport Leipzig 2-1 F95

負傷のため、コートジボワール人コンビを欠いて挑んだライプツィヒ戦は、前半から防戦一方の展開となる。中盤でボールを奪い返しても素早いプレッシャーを受け、なかなかチャンスを作れないと、ハーフタイム直前の44分に失点してしまう。さらに後半に入っても走力の落ちないライプツィヒに追加点を奪われる展開となるが、フォルトウナも75分にコーナーキックからカリム・ハグイがヘディングシュートを決めて反撃の狼煙を上げる。さらに新加入のアレクサンダー・マドルンクや、ブンデスリーガ2部デビューとなったエマヌエル・イヨハを投入して同点ゴールを目指したが、この日も1点が届かず、勝ち点を持ち帰ることは出来なかった。



F95 1-0 SpVgg Greuther Fürth

クラマー監督にとって古巣との対戦となった今節は、怪我で離脱していたベリングハウゼンとボリーが再びスタメン入り。するとフォルトゥナは、開始早々から積極的な攻撃を見せる。そしてその努力は78分に報われることに。デミルバイの蹴ったコーナーキックが、174 cmのヤ・コナンの頭にピタリと合い、フルタイムゴールを揺らすことに成功。このゴールが決勝点となり、フォルトゥナが勝ち点3を獲得した。

FC St. Pauli 4-0 F95

連勝を狙ってアウェーに乗り込んだフォルトゥナだったが、前半早々の決定的なチャンスを活かすきれないと、そこからはパウリの猛攻を受けることに。GKレンジングが再三ファインセーブを見せる活躍を見せたが、前半に2失点を喫して折り返すと、後半にも2点を献上する結果となり、最後まで攻守が上手くかみ合わないままタイムアップを迎えることとなってしまった。



offset cmyk
 dtp proof schmuckfarben
 photoshop fünf+lack FSC illustrator
 prepress scannen bogen
 falzen kreuzbruch
 nuten einfarbig indesign
 vierfarbig kleben quark
 klimaneutral retusche
 klammern ctp andruck
 zickzackfalz digitaldruck

CLASEN GmbH
 ihr printmedienpartner in düsseldorf



Geschäftsführung: Michael Klein & Achim Krause



イラス・ベブー

37 / IHLAS BEBOU

イラス・ベブー

Ihlas Bebou

フォルトウナのユースアカデミー出身で、18歳でプロ契約をしながら長年怪我に苦しんできたベブー。しかし今シーズンは怪我からも解放され、チームの中で重要な役割を担うまでに成長した。そんなベブーにこれまでを振り返ってもらった。

君はフォルトウナで成長し、プロサッカー選手になったわけだけど、それについてどう思っている？

まずはフォルトウナでプロサッカー選手になれたことは非常に嬉しいことだし、感謝しているよ。デュッセルドルフは僕の故郷だし、ここで育っただけだから、ここにいることはとても居心地が良いね。

2013/14シーズン、ディナモ・ドレスデンでデビューを果たしたわけだけど、どんな気持ちだった？

とにかく最高の気分だったよ。ホームスタジアムでデビュー出来て、本当に多くのサポーターが応援してくれていたし、もちろんあれだけ多くの人の前でプレーするのも初めての経験だったしね。それに家族も来てくれていて。みんな心から喜んでくれたよ。

そのあと、怪我のために長期離脱を強いられたよね。またピッチに戻ってこれると確信していた？

もちろんだよ。長い離脱になることはわかっていたし、最初から医者も最低でも半年は掛かると言っていたしね。それでも絶対にまたピッチに戻ってくると信じていたよ。



今や地元のスター選手になったわけだけど、そういう自覚はあるのかな？

僕が途中交代で投入されるようなときは、サポーターからの大きな声援をもらっているし、それはすごく力になっている。デュッセルドルフの人たちが僕を応援してくれていることはすごく嬉しいことだし、しっかりと感じているよ。

君にとってのこれからの目標とは何か？

今はチームとともに、再び成果をあげられるようになりたいと思っているよ。それにチームが好調になれば、僕自身も上手くいっていることを意味するしね。いつか代表チームでプレーすることは夢の1つだけど、とにかく今はチームのためにプレーすることに集中しているかな。

これまでに日本人と関わりを持ったような経験はある？そしてどんな印象かな。

過去には対戦したりした経験があるし、とてもいい印象を持っているね。(以前フォルトウナに所属していた大前)元紀とも練習の時に軽く喋ったくらいだったけど、個人的には日本人はみんなとても穏やかだし、勤勉だし、そういうところは僕に似ているところもあると感じてるよ。

日本文化について知っていることはあるかな。日本食とかは好き？

お寿司については知ってるけど、そんなに食べに行ったりはあまりしないかな。学生時代からの友人に現地生まれの日本人の友人がいるけど、ドイツ語でコミュニケーションを取っているし、特別日本文化と接する機会はあるまいかな。

最後にフォルトウナの日本人ファンにメッセージを。

僕たちの今の目標はとにかく結果を出して、順位を上げていくこと。チーム一丸となってそれに向かって全力で努力していくし、僕としてもしっかりとチームの力になっていくよう頑張りますので、是非スタジアムに足を運び、応援してくれれば嬉しいです！

Ihlas Bebou



- ➡ 背番号: 37
- ➡ 生年月日: 1994年04月23日
- ➡ 身長: 183 cm
- ➡ 体重: 74 kg
- ➡ 国籍: トーゴ
- ➡ 加入年: 2011年
- ➡ 出身地: ソコデ(トーゴ)
- ➡ 現住地: デュッセルドルフ



HAPPY BIRTH
クラブ生誕120周年。



DAY FORTUNA!

成長著しいユースアカデミーの選手たち

Tolle Entwicklung von NLZ-Spielern

2008/09シーズン、ブンデスリーガ2部に昇格するとともに設立されたフォルトウナのユースアカデミーが、今年初めてDFB(ドイツサッカー協会)とDFL(ドイツプロサッカーリーグ機構)より2つ星を獲得した(3つ星が最高)。現在ではU19、U17、U15チームはそれぞれ各年代のトップリーグに所属し、それぞれがコンスタントなパフォーマンスを発揮しているだけでなく、年代別代表チームに招集されるタレントも増えてきている。



現在シュカ監督率いるU19チームに所属するタイラン・デューマン(18歳)と、今年ドイツU18代表にも招集されたエマニュエル・イヨハ(18歳)は、今季初めのキャンプからトップチームに帯同し、10月には2人揃ってプロ契約にサインし

た。特にイヨハは、今秋に行われたDFB主催のU18選抜トーナメント大会に、DFBのU19選抜チームとして出場。アドラー(ドイツのシンボル)を胸に付けてプレーし、初ゴールもマークしている。さらには同10月23日のライブチッヒ戦でブンデ

スリーガ2部デビューを果たすなど、その能力の高さを証明している。

また同様にU19チーム所属でキャプテンを務めるレビス・ビアデは、18歳ながら母国コンゴU21代表チームですでにデビューを飾っている。加えてGKスメター・コクポー(17歳)は、この秋に初めてタイU19代表からの招集を受け、U19アジアカップへの出場が掛かった2試合のために、代表チームのユニフォームに袖を通した。さらに今季U17チームからポレンスキー監督が指揮するU18チームに昇格したモハメド・ジョウアウディ(17歳)は、チュニジアU19代表選手としての経験を積んでいる。

さらに、U19チーム所属のジョシユア・ラース(17歳)は、今年10月にチリで行われたU17ワールドカップに出場したオーストラリアU17代表の一員として全試合に出場するなど、ベスト16進出の原動力となる活躍を見せている。





これまでドイツU16代表としてプレーしてきた、シジッチ監督率いるフォルトウナU17チームでキャプテンを務めるミカ・ハンラーツ(16歳)は、今年9月にブレーメンで行なわれていた4ヶ国トーナメント大会に出場したドイツU17代表マイケル・シェーンヴァイツ監督から初招集を受けた。そのドイツ代表は惜しくも優勝の座を逃したが、大会を2位でフィニッシュし、

ハンラーツはイタリアU17代表戦でスターティングデビューを飾った(1-2で敗戦)。第2戦のイスラエルU17代表との試合のメンバーは、ほぼすべてのポジションを入れ替えたため出場はなかったが(6-0で勝利)、3戦目のオランダU17代表との対戦では、再びハンラーツがセンターバックとして起用され、2-2の試合に貢献している。

日本生まれのハーフ2人も奮闘中!

Die in Japan gebürtigen Talente „Leo“ und „Shinta“

フォルトウナのユースアカデミーには日本出身の若武者が所属している。レオ・エンゲルス(16歳)とシンタ・アペルカンプ(15歳)の2人だ。日本とドイツを故郷とするタレントらは、このデュッセルドルフで夢を叶えるために日々努力をしている。



日本ではJリーグ4クラブで監督を務め、日本語も非常に堪能なことで有名なゲルト・エンゲルス氏を父に持つレオは、フィリピンとドイツのハーフだが、日本で生まれ育ったため、完璧な日本語を話す。父の仕事の関係でドイツに戻ると、複数クラブからの誘いの中から2014年夏にフォルトウナ入りを決断。今季はU17チームで輝きを放つ、バイエルンのダグラス・コスタに憧れる若武者は、「日々のトレーニングに100%取

り組んでいくことが、プロになるための近道と昔から父に言われてきた。日本の友達は恋しいときもあるが、ドイツのサッカーを取り巻く環境は素晴らしいし、集中してサッカー出来ている」と語る。

そのレオとは東京横浜ドイツ学園からの友達というシンタは、今年の6月まで三菱養和巣鴨に所属していたが、昔から父の母国であるドイツでプレーすることを熱望していた。そしてレオを通じてフォルトウナU16へテスト参加

をすることが実現。見事入団の許可を勝ち取り、この夏からデュッセルドルフへやってきた。シンタの夢はドイツ代表になること。そのためには少しでも早く、ドイツサッカーに慣れなくてはならない。「日本人よりもやはりフィジカルが圧倒的に強い。練習からみんなうるさいくらい声を出すし、すごく厳しい声も飛ぶ。練習ではまだまだ出来ていない部分もある。その辺はもっとやらなくちゃいけない。でも(自分からも)だいぶ声を出せるようにはなってきた」と日独のサッカーの違いを感じながら、高い順応性も覗かせる。

ユースアカデミーの選手たちは、ESPRITアリーナで行われるトップホーム試合でボールボーイを担当することがあるが、2人もすでに経験済み。「サポーターの声はすごかった。やはりあのピッチに立ってプレーしたい」と目を輝かせる。「日本食は好き。ラーメンを食べられるのは嬉しい」と話す2人が、近い将来ESPRITアリーナで、フォルトウナファンを熱狂させる日も遠くないかもしれない。

日本人学校ESPRITアリーナ見学会

Arena-Führung für die japanische Schule

今年で8回目となるデュッセルドルフ日本人学校とのコラボ企画「ESPRITアリーナ見学会」が11月12日(木)に実施された。日本デスク瀬田による事前授業でしっかりと予習してきた子供たちは、想像以上に大きいアリーナに終始驚きながら、見学会を楽しんだ。

毎年恒例の時期がやってきた。毎年11月に実施されている「ESPRITアリーナ見学会」に向けて、まずは10月22日(木)にフォルトゥナ日本デスクの瀬田が小学校を訪問し、対象となる小学2年生に向けて特別授業を行った。ドイツサッカーやフォルトゥナ、ESPRITアリーナについて勉強した子供たちは、宿題として選手たちの似顔絵を描き、これらはその後、本人たちの下へ届けられた。ロッカールームでは子供たちの作品に大盛り上がりとなり、記念に写真撮影する選手もいるほど大好評となった。

そしてアリーナ見学会当日は天候にも恵まれ、子供たちは憧れの選手たちにご対面。初めて見る大きな選手たちとハイタッチをして大興奮したあとは、日本人学校の生徒の100倍を収容するアリーナの中を隈なく見学。覚えてばかりのフォルトゥナの応援歌を大きな声で歌うなど堪能した後は、一般の人は絶対に入ることが出来ないエリアである選手ロッカールームでお弁当を広げてピクニックを楽しみ、最高の思い出を胸に帰路に就いた。



Film

Discover Packaging & Industrial Films

Technology, Ideas and Innovation for your industry

TOYOBO has produced a variety of films containing resins such as polyester, nylon and polyethylene, giving each film a unique function and specification. Discover our films and choose the right product for your specific needs.

Packaging



Isovoltaic



Labeling



Electronics



TOYOBO Europe GmbH
Berliner Allee 22
40212 Düsseldorf

Tel: 0211-976229-0
E-mail: info@toyobo-europe.de
www.toyobo-global.com/

未来を生きる子どもに、 どんな世界を贈れるだろう。

私たちの子どもが、そして、その子どもたちがいつまでも、
昨日よりもっといい世界で目覚めることができれば。そんな未来を想像してみませんか。
世界中のいたるところで、豊かな水とクリーンエネルギーがあふれ、
道路は渋滞することなく、誰もが一人ひとりに合った医療を受けられる。
日立は、それをけっして夢ではなく、社会イノベーションでかなえる未来と考えています。
すでに動き出しているのは、電力や水や交通などの異なるインフラをITでつなぐことで、
資源のムダをなくし、社会状況の変化にも柔軟に対応して進化し続けるシステムづくり。
これも、世界をより豊かにするための取り組みの一つです。
私たちが想像できる暮らしは、きっと、実現できるはず。
未来への、かけがえのない贈り物をしたいのです。

それが、日立の社会イノベーション。

social-innovation.hitachi.com

SOCIAL INNOVATION

**IT'S OUR
FUTURE**

